

ボラまち

19



SEP 2023

中央区ボランティア・市民活動センターだより

ボランティアと地域がひとつに ～千灯まつり～

7月29日(土)夕方、本町通りに灯がともり、街を包みました。「地域が一つにまとまり、元気が出る祭りを」との想いで始まり、今年で20回目です。灯ろう作製は、本町5番町実行委員会から当会を通して19の福祉事業所にお願ひしました。ひとつひとつが手作りで、どれも個性豊かです。「より多くのボランティアが関わられるように」と考え、灯ろうの材料仕分け・受け渡し、当日の設置等さまざまな場面で活動してもらいました。



当日は地域の方々と募集した30名のボランティアが炎天下の中、作業に汗を流しました。参加者からは「ボランティア活動を通じて、地元こんなお祭りがあることを知るきっかけになってよかった」「当日は暑かったが、ボランティア参加者の方たちと声を掛け合いながら作業をすることができてよかった」「炎天下の中ではあったが、何事もなく無事に並べることができて良かった。少しずつ灯ろうが並んでいく景色は壮観で、感動した」などのコメントをいただきました。

私たちは、そこにボランティアが関わった方が上手く・楽しくできることを大切に、活動の価値を考えます。協力してくれたボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

誰にとってもやさしい社会へ

表現と「優しい」気持ちで伝える日本語のことを言い、外国人のみならず障がいのある方や高齢の方にも役立つコミュニケーション手段です。やさしい日本語のコツは、ハサミの法則(はっきり言う、さいごまで言う、みじかく言う)と、ワセダ式(わけて言う、せいりして言う、だいたんに言う)だそうです。例えば「何をお召し上がりになりますか」をやさしい日本語に直すと「何を食べますか」になります。また「床をピカピカにしてください」といったオノマトペを用いるのは伝わりにくく「床をきれいにしてください」に直すと分かりやすくなります。参加者にお話をお聞きしたところ「とても勉強になった。普段外国人と関わることはあまりないが、今回をきっかけにお話してみたい」や「これからもっとやさしい日本語が世に広まって欲しい」という感想をいただきました。

県内在住外国人数は年々増加傾向にあります。中でも新潟市における在住外国人数が最も多いという現状があり、特に中国人とベトナム人の割合が多いです。中央区社会福祉協議会での新型コロナ特例貸付において、留学生をはじめとする在住外国人からの申請件数が多かったことから、県内在住外国人にまつわる調査を行い、それが今回の講座に繋がったとのこと。今回の講座を通して、やさしい日本語がより普及し、外国人が暮らしやすい社会になることを願っています。(報告者：社会福祉士実習生 新潟県立大学 乙川)

8月26日(土)に中央区社会福祉協議会にて「やさしい日本語講座」が開催されました。当日は約20名の方々が参加し、講義のあとカードを用いたゲームを行いました。「やさしい日本語」とは「易しい」



新潟医療福祉カレッジ イフ食道 レシピ紹介 -Vol.2-

こんにちは、イフ食道です。まだ暑さが残る9月に、おうちで簡単に作れるゼリーの紹介です！果物缶を自分好みのものに変えることで、自在にアレンジができますので、ぜひ作ってみてください。

フルーツ缶で簡単寒天ゼリー



【材料(4人分)】

- フルーツミックス缶(4号) … 1つ
- 砂糖 … 大さじ2
- 粉寒天 … 4g
- 水 … 適量



作り方は動画でも！▶



【作り方】

- ① フルーツ缶をザルなどにあけて、フルーツとシロップに分ける
- ② 上記のシロップに水を合わせて600ccにして鍋に入れる
- ③ ②に砂糖と粉寒天を加え、混ぜながら沸騰させる。
- ④ 沸騰したら中火にし、2分混ぜたら火を止める
(蒸発しても問題ない量の水分があるため、ふたをせず混ぜましょう)
- ⑤ フルーツを容器に入れ、④を入れる
- ⑥ 冷蔵庫で10~20分ほど冷ます(お好みのかたさになるまで時間を調整する)



多くの人に知ってほしい！ -まちなかほっとショップ-

新潟市中央区NEXT21 3Fに店舗を構える“まちなかほっとショップ”。お洒落な店内では、市内32の障がい福祉施設で製作されたお菓子や雑貨を販売しています。個性的で魅力あふれる商品が数多くならんでいます。しかし、「ショップの存在がまだまだ知られていない。より多くの人に知ってもらい、売上アップにつなげたい。」そんな集客の課題を解決すべく、新潟食料農業大学（北区）の学生が立ち上がりました。

5月に店舗を見学。どんな商品があり、どんな想いで作られているのか、製作のストーリーまで深堀りします。学生からは「商品のバリエーションが豊富。魅力的なものがたくさんあるなか、存在を知らない人が多いと思うのでもったいない。」「実際に来てみて、場所が分かりづらいと思った。のぼりや看板をもっと目立つようにしたら良いのでは」などの意見が出ました。

そして7月、大学での課題解決に向けた報告会では12名の学生から「ロゴ製作・包装シール製作等、一括ブランド化を図る」「SNSの活用。影響力のあるインフルエンサーを起用する」など様々なアイデアが集まりました。

運営するささえあいコミュニティ生活協同組合新潟／就労支援事業所きままま舎の星ゆり子所長は「障がいのあるメンバーが作った商品ではあるが、どれもクオリティが高く、フツウに良いもの。今回集まったアイデアを参考に今後も店舗を盛り上げていきたい。」と話します。



商品の購入が福祉事業所で働く方々の工賃になり、自立につながります。誰もが気軽に行える「買う社会貢献」。皆様もぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。自治会のイベントや会合などのおみやげにピッタリな焼き菓子などの大量注文も受け付けています。詳しくはショップまでお問い合わせください。

■まちなかほっとショップ■

新潟市中央区西堀通6番町866 NEXT21 3F

営業時間：月曜～金曜 10:00～16:00 TEL:025-211-8517

ボランティア募集情報

ボランティアを募集している施設・団体・企業等のみなさま、ぜひ情報をお寄せください！



～趣味・特技を活かして～ 囲碁・将棋ボランティア

少しずつボランティアの受け入れ再開が聞かれています。高齢者施設から囲碁・将棋のボランティア依頼の相談をいただくことがあります。みなさんの好きなことを活かして、人とふれあうボランティア活動をはじめませんか？

【活動先】

高齢者施設(デイサービスセンター等)

【連絡先】

中央区ボランティア・市民活動センター
TEL:025-210-8730

アルビレックス新潟レディース 試合運営ボランティア

これからシーズンが始まる女子サッカー。
ホームゲーム時の運営に関わるボランティアを募集中！

【活動時間】 開始：ホームゲーム試合開始3時間半前
終了：試合終了1時間後

【その他】 登録・活動するには
①スタッフポロシャツをプレゼント ②飲み物、お弁当あり

【今後の日程】

11/19(日) } 13:00 キックオフ 新潟市陸上競技場
11/23(水・祝) }
12/10(日) 13:00 キックオフ デンカビッグスワン

【お問合せ】 アルビレックス新潟レディース 運営担当：堀井
025-257-5814

詳しくはこちら▶



「楽しい!」「また来たい!」と
思ってもらえるようなホームゲームを
一緒に創りませんか?

中央区ボランティア・市民活動センター

〒951-8062

新潟市中央区西堀前通6番町909 Co-C.G.ビル3階

Tel:025-210-8730 Fax:025-210-8722

Mail:va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp

※お車でお越しの際は、市営西堀地下駐車場をご利用ください。駐車券をお渡します。

【開所時間】 月曜日～金曜日 8:30～17:15(土・日・祝、年末年始を除く)

ご寄付ください! 使用済み切手

災害が起きた時の
ボランティアセンター運営に
役立てられます!

詳しくは中央区ボラセンまで
お問い合わせください